

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2024年 5月 16日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所 名古屋市瑞穂区二野町2番地28号	
氏 名 株式会社 興和工業所	
代表取締役 六車壽夫	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-871-4721	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 興和工業所 名古屋工場
事業場の所在地	〒467-0861 名古屋市瑞穂区二野町7番地21号
計画期間	2024年4月～2025年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	25 金属製品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 2677百万円
③ 従業員数	112名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	業者委託処理

特別管理産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長（産業廃棄物処理総括責任者）
↓
課長（特別管理産業廃棄物管理責任者）
↓
担当者（特別管理産業廃棄物管理担当者）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃塩酸	
	排 出 量	410t	
	（これまでに実施した取組） ・ 新液の補給時の方法の見直し ・ 治工具の付着亜鉛の希硫酸で処理し還元 ・ 冬場の塩酸温度管理により反応を上げる ・ 廃塩酸を予備処理槽に再利用		
	【目標】		
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃塩酸	
	排 出 量	1000t	
	（今後実施する予定の取組） ・ 不具合品処理の低減 品質向上 ・ 廃塩酸を予備処理槽に再利用 ・ 塩酸温度管理により反応を上げる ・ 治工具の付着亜鉛の希硫酸で処理し還元		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 腐食性廃塩酸 単種類のため特になし
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 腐食性廃塩酸 同上

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量 した特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量 する特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃塩酸	
	全 処 理 委 託 量	410t	- t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	410t	- t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 委託業者への再処理要望		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃塩酸	
	全 処 理 委 託 量	1000t	- t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1000t	- t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 委託業者への再処理要望		
電子情報処理組 織の使用に關す る事項	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物 を除く。）	410t	
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下、「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

